

Schmidt ランクと部分空間

$(n + k) \times n$ 行列の n 次小行列式

Priyabrata Bag (Narsee Monjee Institute of Managemnt Studies)

Santanu Dey (Indian Institute of Technology Bombay)

渚 勝 (立命館大学, 千葉大学)*¹

大坂 博幸 (立命館大学)*²

1. Introduction

この講演では 2 量子状態のヒルベルト空間 $\mathcal{H} = \mathbb{C}^m \otimes \mathbb{C}^n$ を扱う. 純粋状態 $|\psi\rangle \in \mathcal{H}$ の Schmidt 分解とは

$$|\psi\rangle = \sum_{j=1}^k \alpha_j |u_j\rangle \otimes |v_j\rangle,$$

ここで $\{u_j\}$ は \mathbb{C}^m の正規直交系, $\{v_j\}$ は \mathbb{C}^n の正規直交系, $\alpha_j > 0$ で $\sum_{j=1}^k \alpha_j^2 = 1$ を満たす, ように書き表すことである.

純粋状態 $|\psi\rangle$ の Schmidt ランク $\text{SR}(|\psi\rangle)$ とは, $|\psi\rangle$ の Schmidt 分解に現れる個数 k の最小値で定義される.

ヒルベルト空間 $\mathcal{H} = \mathbb{C}^m \otimes \mathbb{C}^n$ の状態 ρ を

$$\rho = \sum_j p_j |\psi_j\rangle \langle \psi_j|$$

と純粋状態 $|\psi_j\rangle$, $p_j > 0$ で $\sum_j p_j = 1$ と分解するとき

$$l = \max_j \text{SR}(|\psi_j\rangle)$$

とし, 分解に対応する l の最小数を Schmidt 数 $\text{SN}(\rho)$ という.

\mathcal{H} の部分空間 S で S の純粋状態の Schmidt ランクが k 以上のとき, S の元で表される状態の Schmidt 数は k 以上になる. とくに, S を生成する正規直交系のそれぞれが Schmidt ランク k 以上であれば, S の元で表される状態の Schmidt 数は k 以上になる.

任意の純粋状態 $|\psi\rangle \in S$ に対して $\text{SR}(|\psi\rangle) \geq 2$ となる ような部分空間 S の最大次元は $(m-1)(n-1)$ であることが知られている ([2],[3]). また, $\text{SR}(|\psi\rangle) \geq k$ となる ような部分空間 S の次元は $(m-k+1)(n-k+1)$ 以下であることも知られている ([1]).

2. 主結果

定理 1. $m, n \geq 4$ とする. \mathcal{H} の次のような部分空間 $\mathcal{S}, \mathcal{T}, \mathcal{U}$ が構成できる.

- (1) $\mathcal{U} \subset \mathcal{T} \subset \mathcal{S}$.

本研究は科研費 (課題番号:JP17K05285) の助成を受けたものである。

2010 Mathematics Subject Classification: 15A15, 81P40, 81P68, 15A03

キーワード : entangled state, Schmidt rank, Schmidt number

*¹ e-mail: nagisa@math.s.chiba-u.ac.jp

*² e-mail: osaka@se.ritsumeikan.ac.jp

